

「電力消費地から 原子力について考える」 シンポジウム

本シンポジウムでは、電力消費地を含む社会全体が
原子力利用に対する理解を向上させることを目的として、
欧米の原子力施設立地地域のオピニオンリーダーを招聘し、
日本の有識者と意見交換を行います。
議論を通じて、我が国を含むアジア諸国の原子力有効利用と
ステークホルダー・インボルブメント向上のために
必要な要件を整理するとともに、
それを踏まえた政策提言の取りまとめを目指します。

2024

5/23 木

参加費

無料
(要事前申込)

13:00~17:00 (12:30開場)

会場 シェラトン都ホテル大阪 4F
「浪速の間 (東)」

住所: 〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町6-1-55

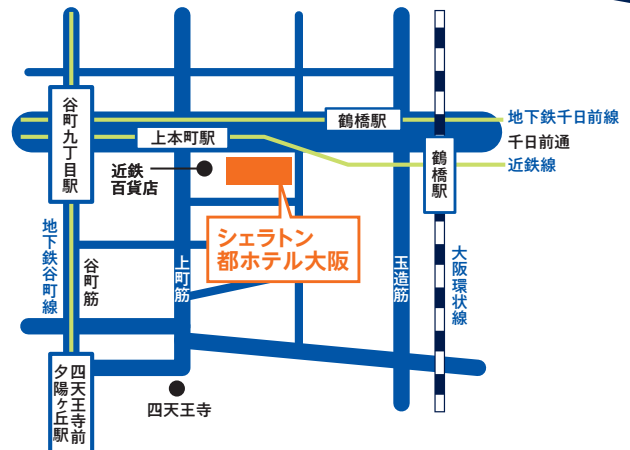
TEL: 06-6773-1111

交通アクセス: 近鉄「大阪上本町駅」直結

Osaka Metro谷町線・千日前線「谷町九丁目駅」より徒歩約5分

<https://www.miyakohotels.ne.jp/osaka/access/>

使用言語: 日本語・英語 (同時通訳付き)



■ 主なプログラム ※プログラムは予告なく変更する場合があります。

基調講演 資源エネルギー庁（調整中）

13:10～13:35

セッション 1

13:35～14:35

なぜ原子力は重要なのか？
原子力の意義とその利用、立地地域との向き合い方

●『世界情勢やカーボンニュートラルの
実現に向けた原子力の役割』

(公財)地球環境産業技術研究機構
主席研究員 秋元圭吾氏

●『電力需給の逼迫や近年の世界情勢
などを踏まえた電力消費地域の
課題認識』

(公財)関西経済連合会 副会長 金花芳則氏

セッション 2

14:50～16:20

原子力の受入と住民の思い、
ステークホルダーの関与、対話のあり方

●『原子力施設立地地域の思い』

福井県原子力平和利用協議会 副会長 武内貴年氏

●『欧米の原子力の動向、電力消費地を
含む社会全体での理解醸成の在り方』

- ・エイヤ・リッタ・コルホーラ氏(フィンランド)
- ・クリスティン・ザイツ氏(米国)
- ・ヘザー・ホフ氏(米国)
- ・マイケル・ラシュトン氏(英国)
- ・コリン・マシューズ氏(英国)

セッション 3 パネルディスカッション：電力消費地として原子力とどう向き合うか

16:20～16:40

セッション 4 政策提言

16:40～16:50

■ 欧米オピニオンリーダー



エイヤ・リッタ・コルホーラ氏(フィンランド)
欧州経済社会評議会 産業変化諮問委員会
委員、元欧州議会 議員
原子力に対して否定的な立場から肯定的
な考え方になった経緯を持つ。



クリスティン・ザイツ氏&ヘザー・ホフ氏(米国)
Mothers for Nuclear 共同設立者
ディアブロキャニオン原子力発電所で業
務に従事するとともに、母親の視点での原
子力との共生について情報発信を行う。



マイケル・ラシュトン氏(英国)
バンガー大学 原子力未来研究所
上級講師、メナイサイエンスパーク 取締役
ウェールズ地域における原子力人材育成
と地域開発を務める。



コリン・マシューズ氏(英国)
サマセット州政府 原子力・航空宇宙セク
ター統括
産官学や地元コミュニティ間の連携推進と
地域経済開発を行う。

申込方法：下記の①または②のどちらかでお申し込みください。

- ① 以下のURLまたは右の二次元コードから参加登録をお願いします。
専用登録フォーム：https://bit.ly/ERIA_Nuclear_Symposium_Osaka2024

- ② お問い合わせ先に記載されたメールアドレスまたはファクス番号へ、タイトル／宛先を
「原子力シンポ大阪／事務局行き」とした上で、所属団体名、部署名、役職名、お名前、
連絡先(メールアドレス、電話番号)を明記し送付してください。



申込締切

2024年5月21日(火) 12:00

※定員に達した場合は申込を締め切る場合がありますので、予めご了承下さい。

お問い合わせ先

シンポジウム事務局(日本エネルギー経済研究所)

TEL:070-7405-4393(吉田)・070-8700-7910(丸山)

FAX:03-5547-0225 / E-mail:ieej.secretariat@tky.ieej.or.jp